

藤子・F・不二雄展 @東京タワー

農学研究科 修士2回生 中野 周平

トキワ荘周辺を散策したのち、一行は赤羽橋駅へ。行き先は東京タワー。7月19日～10月6日の期間に、フットタウン屋上と四階にて生誕80周年記念「藤子・F・不二雄展」が開催されているのだ！入口から早速等身大ドラえもんのお出迎えにメンバーは大興奮！等身大ドラえもんって…とても…大きいです…（129.3 cm）。

タワー下の建物の屋上には「55/80 ひろば」がある。会場内には55体の等身大ドラえもん像が整列していた。このドラえもん達は台湾や箱根で登場していたのだが今回ははいよいよアクセスしやすい東京タワーに進出したのだ。今回、僕もようやく対面することができた！けっこうな人口密度（ドラえもん密度？）で設置してあり、これぞ本当の「ドラえもんだらけ」。子供大人問わずみんながひみつ道具について楽しげに語らっている様子が非常にほほえましい。僕はタケコプターを装着したドラえもんと一緒に記念撮影した。ドラえもんは全て異なるひみつ道具を持っていて、像の下にはその道具名が書かれている。遠くから道具名を当てるクイズをやったのだが、これが案外難しかった。似たような見た目のひみつ道具って多いもんなぁ…。

続いて四階に降り、展示スペースへと向かう。途中の階段や廊下には、東京タワーが登場する藤子F作品のコマが！キャラクターが空高く飛行するシーンで東京タワーがちょいちょい描かれている。スタッフの方々が漫画の隅々まで探したんだろうなぁと想像しているうちに会場へ登場し、最初の「SF（すこしふしぎシアター）」へ。4Dプロジェクションマッピングを使った映像が流れ、思わず引き込まれた。

このフロアには、F作品第一話の原画や壁一面のSF短編扉絵、そして高校時代の藤子両先生による手作りのマンガ雑誌「少太陽」の展示がある。目玉は何ととっても「少太陽」。これはすごい！全ページのスキャン画像が壁や天井にズラッと並べられていて首が痛い圧巻であった。表紙から目次から奥付まで本当の雑誌そっくりで作られていることに加え、様々なニックネームを作ってあたかも色々な漫画家が寄稿しているかのような豪華さを演出しているという遊び心も素晴らしい。

「なりきりキャラひろば」では、キャラクターになりきって写真を撮ることが出来る。のび太のおばあちゃんの膝枕をして「おばあちゃん！（泣）」ポーズをしたり、パーマンマスクをかぶってブロックを持ち上げたり。この日は平日で空いていたため、時間をかけて好き放題に撮影しまくった一同であった。

最後はF先生への色紙コーナー。漫画家からアーティストから声優から、様々な著名人が描かれた色紙が壁一面に展示されていた。それぞれの漫画家さんのタッチで描かれたFキャラを見るだけでも楽しい。やなせたかしさんによるドラえもんがなかな

かになかなかであった。奥に設置された F 先生&F キャラのブロンズ像を含め、撮影禁止なのが非常に残念…！近いうちに藤子・F・不二雄ミュージアムで再展示されることを願う。